



ハギ（芋ころがし坂）
 周りでは、キチョウの舞う姿を見かけます。ハギは、キチョウの幼虫の食草なので、卵を産み付けるために集まります。



オミナエシ（南エリア園路）
 機械による均一な草刈りでは、なかなか生き残れない草花です。園内のものは、もりもりクラブにより、手刈りによって管理されています。



ススキ（南エリア園路）
 道の両側150mに渡ってススキが並びます。今年の十五夜は9月30日（日）、当日は管理棟デッキでススキの無料配布をします！



コルチカム（グァク小屋前）
 昨年、古河ロータリークラブのご寄付で、400球植えました。花壇の下にある沿岸は、カワセミの餌採り場となっているので、こちらのチャンスもお見逃しなく。



ワタ（雪華園）
 花の時期は、過ぎてしまいましたが、白い綿が、次々と開いています。綿の自給率は明治時代には100%だったそうですが、現在は限りなく0%。見る機会も、すっかり減ってしまいました。



タカノハススキ（雪華園）
 園芸種です。葉に薄黄色の横縞模様が入るのが特徴です。模様が鷹の羽の模様に似ているのが名の由来です。園内にはありませんが、縦縞模様のシマススキという品種もあります。



ハスの果托（大賀ハス池）
 果托は、種が出来る部分です。これが蜂の巣に似ていることから、ハチス→ハスと呼ばれるようになったそうです。



ヒガンバナ（眼洗弁天池）
 虚空像堂や眼洗弁天池とあいまって、雰囲気醸しだします。アゲハチョウが蜜を吸いに訪れ彩りを添えます。



コスモス（中山台）
 2,000m²程の広さです。去年は、これから見頃という時に台風に倒されてしまいました。今年は、どうかな？

秋の七草とは、オミナエシ、ススキ（オバナ）、キキョウ（アサガオ）、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギの七種です。万葉集の中で、山上憶良（やまのうえのおくら）が、詠んだ下記の2種が由来とされています。ちなみに春の七草は食べて楽しめますが、秋の七草は眺めて楽しむものです。

- ・秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびをり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花
- ・萩の花 尾花 葛花 瞿麦の花 姫部志(をみなへし) また藤袴 朝貌の花